

第2章 小中一貫教育校設置の意義と特色

1 小中一貫教育校設置の意義

練馬区が設置を計画している小中一貫教育校は、義務教育9年間の一貫した教育課程と学校環境のもとで学ぶ場を提供し、児童・生徒の発達段階に応じた学習指導および生活指導を行うことにより、児童・生徒一人一人の個性や能力を伸ばす教育の充実を図るものです。

また、小中一貫教育校における取組とその成果を他の小中学校に情報発信して小中連携教育等に生かすことにより、すべての小中学校において特色や魅力のある学校づくりを推進し、練馬の学校教育の活性化を図るものです。

なお、練馬区における小中一貫教育と小中連携教育の関係は、下表のとおりです。

〔練馬区における小中一貫教育と小中連携教育〕

	小中一貫教育	小中連携教育
定義	義務教育の小中学校9年間を一貫した教育課程と学校環境のもとで実施するもの。	児童・生徒、教員の交流や合同の活動を通して小中学校間の円滑な接続を図るもの。
目的	小中の連続性ある教育活動の充実	小中学校間の円滑な接続
教育課程 (注)	9年間にわたる一貫した教育課程	6・3制のままで円滑な接続を図る。
学校経営	一元的・一体的な学校経営	小中学校がそれぞれで経営
児童・生徒	学校生活を共にする。	計画的に交流を行う。
教職員	一つの学校の一員として、児童・生徒の教育にあたる。	それぞれの学校に籍を置いたまま、互いに連携・協力して、児童・生徒の教育を行う。

(注)教育課程・・・学校教育の目的や目標を達成するため、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等について、学年に応じて教育の内容を授業時数との関連から総合的に組織した学校の教育計画のこと。

2 小中一貫教育校の特色

小中の連続性ある教育活動の充実・推進

知・徳・体の調和のとれた児童・生徒を育成します。

知育では、9年間にわたる一貫した教育課程により計画的・継続的な教育を行い、児童・生徒の心身の発達段階に応じたきめの細かい指導を推進することにより、学習内容の定着を図ります。また、小中学校の教員の相互協力による指導や小学校高学年から一部教科担任制を導入することにより、学力の向上を図ります。

徳育では、9年間にわたる学校生活を通して、小中一貫教育校だからこそできる異年齢集団による活動や体験的な学習を行うことにより、多様な生き方を指導します。

体育では、健康の保持増進や体力の向上を目指した指導を充実するために、地域社会と連携した生涯スポーツを推進し、生涯にわたる健康と体力の基礎づくりを図ります。

小中教職員の一体化による学校経営の活性化

学校経営の一元化を図り、学校教育を活性化します。

小中学校間の円滑な接続を図り、一元的・一体的な学校経営を推進します。

教育課題を実践的に研究し、その成果を公表します。

他の小中学校に情報を発信し、学校教育の充実を図ります。

小中一貫教育校による学校・家庭・地域社会の教育力の向上

学校・家庭・地域社会の教育力を高め、地域に根ざした教育を推進します。

学校・家庭・地域社会の協力による地域の特色を生かした教育を実践します。

学校・家庭・地域社会の連携を図るため、情報提供、活動支援などを行います。

3 小中一貫教育校設置の効果

小中一貫教育校では、以下のような効果が期待できます。

9年間を見通した教育課程を編成・実施することにより、発達段階に応じた計画的・継続的な学習指導および生活指導の充実を図ることができます。

小学校から中学校へ進学する際の段差（学習内容や指導方法の違い）を緩やかなものにし、円滑な移行を図ることにより、安定した学校生活を送ることができます。その結果、不登校や問題行動を減少させることもできます。

幅広い異年齢集団による活動を通じて、豊かな人間性や社会性を育成することができます。

小学校の教員と中学校の教員の相互協力関係が構築でき、学力や体力の向上等の高い教育効果を上げることができます。

地域社会と連携した特色ある学校づくりを推進し、魅力ある学校とすることによって、保護者や地域社会からの信頼を高めて、地域の教育力を向上させることができます。その結果、学校と地域社会の活性化を図ることができます。

4 小中一貫教育校設置による小中連携教育の充実

小中一貫教育校は、小中連携教育の課題を解決し、なお一層の推進を図るために、先導的な役割を担います。小中一貫教育校が他の小中学校に向けて情報を発信し、その実践の成果を小中連携教育に生かすことによって、学習指導および生活指導上の課題解決を図ります。

具体的には、小中一貫教育校の成果を基に、学校と地域社会の実態や実情に応じて、小中学校の教員を対象とした合同研修会や教員の交流、指導の重点の共有、時間割編成の工夫、小中合同の教育活動や保護者の交流活動などを実践することにより、小中連携教育を更に充実させます。

とりわけ、隣接校小中連携教育推進連絡会の小中学校においては、積極的に小中一貫教育校の成果を取り入れて、小中連携の強化を図ります。